

## ニュージーランド金融政策（2023年4月）

市場予想を上回る0.5%ポイントの利上げを決定

2023年4月5日

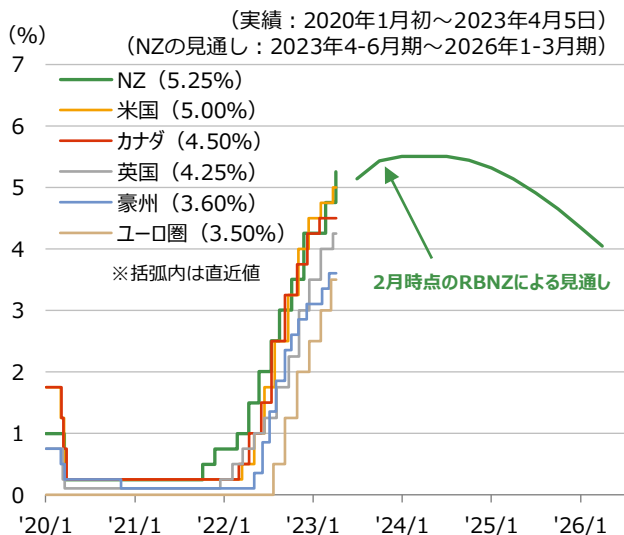
### そろそろ利上げ停止を意識する局面に

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は4月5日（現地、以下同様）、金融政策決定会合を開催し、政策金利を4.75%から5.25%へ0.5%ポイント（%pt）引き上げることと決定しました。市場予想は0.25%ptの利上げであったため、発表直後の金融市場は金利上昇・通貨高の反応となりました。

3月に発表された昨年10-12月期の実質GDPが前期比▲0.6%と、前回会合（2月22日）時点でRBNZが想定していたより弱い結果だったことを受け、声明文では「経済の需給ひっ迫が緩和に向かう兆しが見られる」と記されました。しかし、「需要は引き続き供給能力を大幅に上回っており、依然としてインフレ圧力は強い」との認識も示されています。更に、2月の洪水被害により「いくつかの財・サービス価格が押し上げられた」とした上で、中期的には復興需要が景気を支えるとともに、「資源需要は2月時点で想定していた以上のインフレ圧力になる」と、インフレ見通しの上振れリスクが高まったことが示唆されました。このため今会合では0.25%ptと0.5%ptの2つの利上げ案が検討されましたが、前回会合以降の市場金利の大幅な低下が貸出金利を押し下げること防ぐため、0.5%ptの利上げ決定に至ったとのこととです。

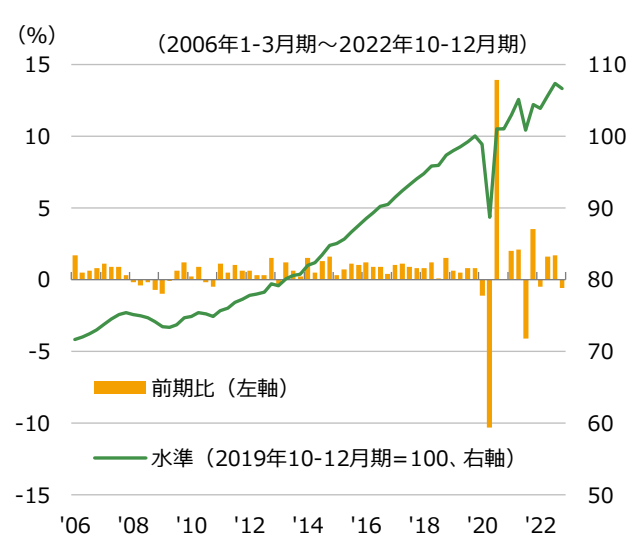
先行きについては、「今後、内需の減速が続き、コアインフレ率とインフレ期待が低下すると予想。この低下の度合いが金融政策の方向性を決定づける」との表現にとどまりました。RBNZは前回会合時点で利上げの到達点を5.5%と想定しており、近い将来の利上げ停止を意識する局面に入ったと言えます。

#### 各国・地域の政策金利



※米国はFFレート誘導目標レンジの上限、ユーロ圏は主要リファイナンス金利  
(出所) ブルームバーグ、RBNZ

#### NZの実質GDP



(出所) ブルームバーグ

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。